

選考した学長の業務執行状況について

(令和3年度)

学長は、第3期中期目標の達成に向けて、リーダーシップを発揮して教職員を指揮し、法人の基本的な目標に沿って年度計画を十分に実施した。これらについては、第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書及び国立大学法人東京学芸大学監事の意見からも十分に認められるものである。

また、新型コロナウイルス感染症の対応についても、迅速に対応し、経済的に困窮している学生への経済的支援や学生へのメンタルケア等適切な措置を講じたことは評価できる。

教員養成大学を取り巻く状況が厳しい中、「教師という職業に対する魅力の向上策」等の諸課題に引き続き取り組んでいくことが望まれる。また、指定を受けた教員養成フラッグシップ大学構想の実現に向け、教育者養成の在り方を持続的に探究することにより、長期的に東京学芸大学の社会的な価値を示していくことを大いに期待する。

【業務執行状況確認資料】

- (1) 国立大学法人東京学芸大学学長選考等規程第10条の2の規定に基づく、選考した学長の業務執行状況に関する意見について（令和3年度）
- (2) 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書

国立大学法人東京学芸大学学長選考等規程第10条の2の規定に基づき、選考した学長の業務執行状況（令和3年度）について、上記のとおり確認をした。

令和4年9月26日

国立大学法人東京学芸大学学長選考・監察会議